

信州大学医学部附属病院 産科婦人科・放射線科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「子宮頸部嚢胞性病変の MRI 所見による胃型粘液検査結果および細胞診結果の
対応についての検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。こ
の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定によ
り、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	子宮頸部嚢胞性病変の MRI 所見による胃型粘液検査結果および細胞診結果の対応についての検討
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院放射線科
研究責任者(職名)	竹腰 大也 (医員)
研究実施期間	医学部長による許可日～2031 年 1 月 31 日
研究の意義、目的	子宮頸部嚢胞性病変における骨盤部 MRI でのコスモパターンやその他の画像パターンの発現頻度と細胞診結果との関係を明らかにすることでの診断精度向上に役立てることを目的としています。
対象となる方	2016 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日までの期間に当院を受診、LEGH が疑われ MRI 画像検査と細胞診が施行された患者さん の中で研究適格性基準を満たした方。 (計画書の対象者と同様記載に修正しました)
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果 (胃型粘液検査結果、腹部 MRI 画像、細胞診結果) など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、子宮頸部の嚢胞性病変と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名 (所属・職名) : 大彌 歩 (信州大学医学部附属病院放射線科・准教授) 電話 : 0263-37-2650

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

[テキストの入力]

[テキストの入力]

[テキストの入力]

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使っていただくことがあります。